

169

電気自動車やポータブル蓄電池を非常用電源とした災害対応訓練

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
東北大学災害科学国際研究所 【平成 27 年】	-	その他事業者 【学術研究, 専門・技術サービス業】	宮城県
<ul style="list-style-type: none"> ● 東北大学災害科学国際研究所では、日産自動車株式会社とオートモーティブエナジーサプライ株式会社と協同し、災害時における電気自動車とその外部給電機能、及びポータブル蓄電池の有用性を検証する実験を平成 27 年 11 月に実施した。 ● 訓練では宮城県沖での地震及びそれに伴う津波の発生を想定し、所内に存在する機材及び電気自動車とポータブル蓄電池の電力を最大限に利用しながら、情報収集活動や情報の整理・分析・マッピング、被害規模の推定を行った。またこれらの情報を今後の災害対応及び初動調査への基礎資料として用い、電気自動車で被災地へ出動する準備までを行った。 ● 訓練の結果、上記の対応に必要な電力を、電気自動車（日産 e-NV200）及びポータル蓄電池から確保可能であることを確認するとともに、電気自動車が備える通信機器を使えば、初動対応における情報の継続性にも効果を発揮することが期待できるわ分かった。同研究所では、今後、EV とポータブル蓄電池を用い避難所運営訓練等を実施し、さらなる有用性の検証を行っていく予定である。 			